令和4年度　第7号（通刊212号）

発行　令和5年2月6日

（地独）青森県産業技術センター水産総合研究所

ホタテガイ養殖管理情報

耳吊り作業は貝の状態と気温に注意

1月下旬より一部地域で耳吊り作業が始まりましたが、2月に入っても日によっては気温が氷点下となることが予想されます。作業にあたっては以下の点に注意してください。

●耳吊り作業の注意点

1 耳吊りする貝

貝はケガをすると欠刻や内面着色のある異常貝（図1）となります。ひどく欠刻した異常貝が見られるネットから、**正常に見える貝や軽い欠刻貝を選んで耳吊りしても、３～４割がへい死**することがあります（図２）。これは、外套膜（ヒモ）に見た目では確認できない傷を負っている貝（通称:異常貝予備群）があるためと考えられます。

異常貝が５％以上ある場合は耳吊りに向かないことから、見た目の欠刻だけでなく、内面着色も調べて、耳吊りするかどうかを判断しましょう。貝が小さいと穴を開ける時に外套膜（ヒモ）を傷つけやすいことから、**成貝向けの場合は特に殻長６ｃｍ以上の貝を用いる**ようにしましょう。

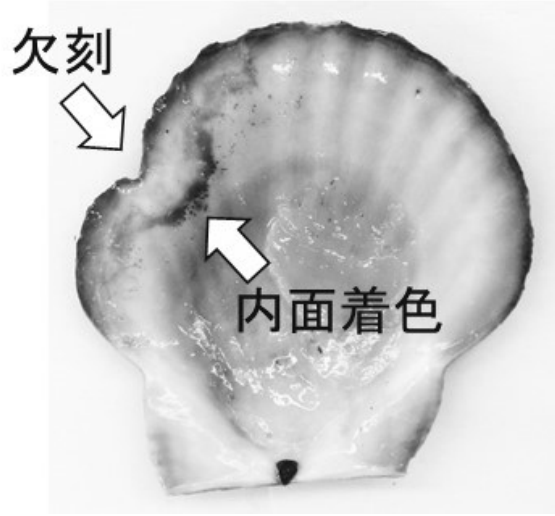

図１　異常貝

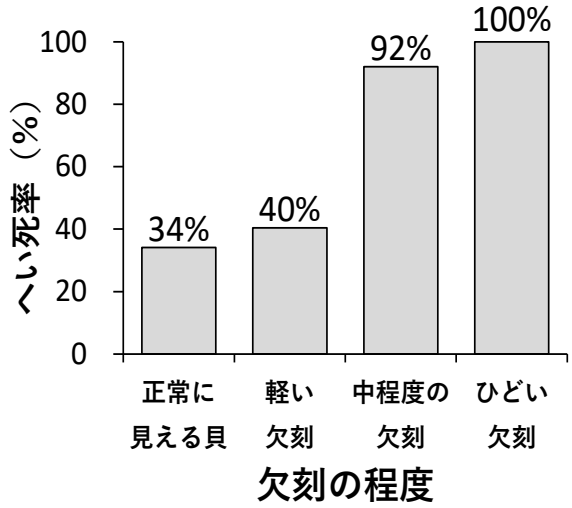

図２　欠刻の程度による耳吊り後のへい死率（３月に耳吊り、７月に測定）

2 穴を開ける位置

外套膜（ヒモ）を傷つけないように穴を開けましょう。

穴の位置は図３のとおりで、○の１枚開けが最適です。２枚開けの場合は△に開けるようにし、▲や×は異常貝になりやすく、成長不良になるので止めましょう。

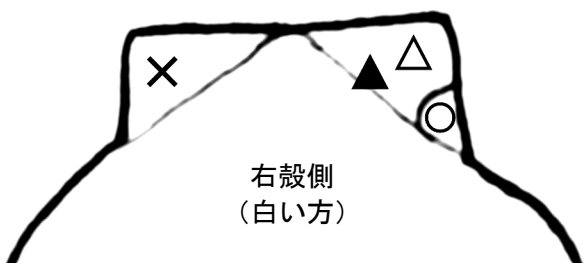

図３　穴を開ける位置

3 冬季作業時の留意事項

(1) 貝が凍結する危険性があるので、**気温が氷点下の場合は、作業を見合わせ**ましょう。

(2) ホタテガイは**乾燥に弱い**ので、作業場では手早く作業を行うようにし、付着物除去を行う際も空気中に露出している時間を短くするようにしましょう。

(3) ホタテガイは**真水に弱い**ので、斜路や船べりに貝を置く場合は、漁港内の排雪や河川水に注意しましょう。

4 その他の注意点

(1) 時期が遅くなると異常貝や死貝が多くなるので、**作業は４月いっぱい**で終えましょう。

(2) 耳吊り後の貝はかみ合わせや餌不足で活力が低下するので、**水槽や船べりに長く置かない**ようにしましょう。

発行元：地方独立行政法人
青森県産業技術センター　水産総合研究所
住　所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
TEL：017-755-2155　FAX：017-755-2156

水産総合研究所ホームページURL：https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/sui_sougou/
ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード（①）
海ナビ@あおもり 全モバイル端末共用QRコード（②）